

パソコン研修部

集まったの学習会が難しくなってから、オンラインでの学習会をみんなで模索してきました。オンラインでのいろいろな情報保障のやり方をひとつずつ試したり、回を重ねたことで Zoom にも慣れて。おかげでオンラインの指導者研修にも不安なく参加でき助かりました。

遠方でも自宅から Zoom による学習会に参加でき、初心者でも気負うことなく学びやすいです。今後は日々進歩する情報保障のあり方など、「手書き・パソコン」合同で意見交換の場がもてると、お互いがさらに向上してくのではと思います。

❖新入会員です。派遣経験は勿論無く、主に Zoom で連携入力の練習をしています。

遠隔の場合、原則ひとりなので、集中力が着くのかなと思います。先輩方が、側にいらっやらないのは不安ですが、その分自立心が養われるかと？皆さま宜しくお願い致します。

❖音源を聞きながら入力の練習をしています。YouTube で入力練習をしています。そしてタイピングソフトでも練習をしています。

❖NHK ネットラジオ「らじる★らじる」を聞きながら入力練習をしています。

❖タイピングの基礎を身につけるためには、練習ソフトを活用しています。

練習ソフトにはさまざまなものがあります。特徴を見ながら、自分に合ったものを選択して練習をしています。

練習ソフトの一例です。「美佳タイプ」「e-タイピング」「EGタイピング」「寿司打」「皿打」などあります。



ぶんご梅

夏の星座

磯田 ひろみ

先日、孫から「星座はなあ〜」と聞かれ、星座占いに興味を持ったのだらうと思ひ、「私はてんびん座だよ。今日はどんな運勢だった？」と返事。

すると、プラネタリウムを見学に行き、たくさん星をみたので、みんなの星座が気になったとのこと。

私もみずみずしい乙女の時代は、星座占いの結果に一喜一憂したり、ながれ星に願ひ込めたりしたこともあるが、そういえば星座についての詳しいことは何も知らなかった。

夏の星座の「はくちよう座」「こと座」「わし座」など、それぞれにギリシャ神話があり、「はくちよう座」は美しい王妃に惹かれた大神ゼウスが白鳥に化けた姿。「こと座」は芸術の女神カリオペとトラキア王オイアゲロスの間に生まれた息子オルペウスが持っていた竖琴。「わし座」は、大神ゼウスが化けた姿で、美少年のガニメデスをさらっていく姿がモデルになったそうだ。

9月生まれの私は「てんびん座」。善悪を図るアストリアの天秤で、あまり自立たないので、見つけることがちょっと難しいらしい。

夏空を見上げて満天の星をみれば、その星にはそれぞれに物語があることを想ひ、星を重ねた自分の物語を想像するのも楽しいかもしれません。

※ぶんご梅は創刊以来続いている会員のエッセーです。

Jennyのブックレビュー [No. 1]

新シリーズ
スタート!!

「ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を行き来して考えた
30のこと」 五十嵐大著 幻冬舎 1400円+税

ずいぶん長い題名の本だ。著者は1983年生まれ、宮城県出身のフリーライター。

「幼い頃から、ずっとひとりぼっちだと思っていた」。

ろうの母と中途失聴者の父との間に生まれた一人っ子。「聴こえる世界」にも「聴こえない世界」にも居場所がないと感じていた。しかし、長い道のりを経て今は両方の世界に居場所を見つけようとしている。

幼少期は父母の愛に包まれて幸せだったが、小学校3年生のころ、「ぼくと母が“ふつう”ではない」ことに気づいた。6年生の時「親が障がい者だから」という理由で、よその家の花壇を荒らしたと疑われた。

いじめを恐れ、目立たないように腐心した中学生時代。母と並んで歩くのをやめた。「耳の聴こえない母が恥ずかしい」。母を守りたい気持ちと憎む気持ちの間で揺れ動いた。自分の未来に希望が持てなかった。

20歳の時、「障がい者の子ども」であることから逃げ出し上京する。アルバイトを転々とする生活ながらも、自由を満喫できた。いろいろな出会いの中で、コーダ（children of deaf adults）のことを初めて知った。「聴こえない親の元で育った、聴こえる子どもたち」は複雑なアイデンティティを持っている。日本に2万2千人いると推定されている。「ぼくは決して孤独ではなかったのだ」。真っ暗だった心のなかに光が差し込んできた。

ライターとなったぼくは、聴覚障害やコーダについての記事をたくさん書いてきた。そして今思う。『もしも生まれ変わることがあるのならば、また同じ両親の子どもになりたい。耳が聴こえない母と父の元に生まれ、手話を使って、ふたりとたくさんお喋りがしたい。「聴こえる世界」と同じくらい、「聴こえない世界」も大切だから』

コーダである著者が赤裸々につづった心の軌跡を読み、自らは健聴者であっても家族に「障がい者」がいることで被る困難の大きさを教えられた。そして、社会の差別、偏見の根深さに怒りを覚えた。しかし私自身が差別、偏見から自由であるかと問われれば、簡単にうなずくことはできなかった。重い課題をつきつけられる一冊だった。

広報部員随一の読書家、Jennyさん
によるブックレビュー。
さて、ジェニーさんの正体は???



お知らせ

◆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

マックスバリュ賀来店よりイエローレシートキャンペーンの助成金をいただきました。金額は86,700円でした。

ペン、用紙、インク、マウスシールド、クリーナー、ブギーボードなどを購入しました。学習会や交流会で活用してください。



◆「第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいた」は、再延期が決定。

2021年11月開催予定の「第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in おんせん県おおいた」は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、再延期となりました。新日程、会場は以下の通りです。

会期：2022年10月15日、16日、17日

会場：メイン会場…ホルトホール大分

懇親会会場…レンブラントホテル大分



大分県難聴者協会 HP より

編集後記

広報部長として、はじめての広報誌です。多くの皆様に原稿をお寄せいただき、またご協力いただきましたこと感謝申し上げます。

県下の感染状況は1年前よりも厳しく、皆様と集うこともままならない日が続きます。そのような中、学習会や交流会は、オンラインという手段を得て、意外や意外、結構な回数を重ねられていることを、あらためて確認できました。企画してくださいる方がいて、積極的に参加する方がいて、「陽さしの会」の会員はさすがなだと感激しきります。

例会はできずとも、学習会や交流会、そしてこの広報誌を通じて、会員の皆さんと繋がっていただけると願っています。

(小野 和子)